

## 交通案内



	<b>福岡空港</b>	地下鉄(約19分) 福岡空港 博多 天神	徒歩(約15分) 西新(1番出口)
	<b>JR博多駅</b>	西鉄バス(約30分) 博多バスターミナル5・6番 駅前Aのりば	
	<b>JR鹿児島本線</b>	西鉄バス(約20分) 天神バスセンター前1Aのりば	
	<b>西鉄福岡(天神)駅</b>	徒歩(約15分)	
	<b>地下鉄西新駅</b>	西鉄バス	
	<b>地下鉄西新駅</b>	西新バス前・西新四丁目 福岡タワー南口行	
	<b>福岡インター</b>	粕屋ランプ(約15分)	
	<b>九州自動車道</b>	水城ランプ(約20分)	百道ランプ(約3分)
	<b>太宰府インター</b>	福岡・石丸ランプ(約10分)	
	<b>九州自動車道</b>		
	<b>拾六町インター</b>		
	<b>西九州自動車道</b>		

## 福岡市博物館

## 展示室案内

<b>常設展示室</b>	「FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと」をテーマとし、福岡の歴史と人々のくらしを紹介しています。
<b>企画展示室</b>	歴史や文化に関するさまざまなテーマを設け、博物館資料や館外の文化財を展示します。4室あり、2ヶ月程度で内容が替わります。
<b>特別展示室</b>	日本や世界各地の歴史や文化に関する多種多様なテーマの展覧会を、年間5～6本開催します。
<b>体験学習室 みたいけんラボ</b>	アジア各地、九州のおもちゃや楽器、衣服、生活の道具などがあります。自由に手にとることが出来ます。

## 利用案内

**開館時間** | 午前9時30分～午後5時30分まで(入館は午後5時まで)

**休館日** | 月曜日(月曜日が祝休日の場合は開館し、翌平日に休館)  
※8月14日(月)、8月15日(火)は開館し、8月16日(水)は休館  
※年末年始の休館日は12月28日から1月4日まで

**常設展・企画展観覧料(共通)** ※文化の日(11月3日)は常設展は無料でご覧いただけます。

区分	個人	20人以上の団体
一般	200円	1人につき150円
高・大生	150円	1人につき100円

※中学生以下無料  
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳(上記の手帳を提示された方の介護者1人を含む)及び、特定医療費(指定難病)受給者証、特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証、福岡市・北九州市・熊本県・鹿児島市でシルバー手帳など65歳以上が確認できるものをご提示の場合は無料。

**福岡市博物館**  
Fukuoka City Museum

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目1-1  
TEL: 092-845-5011 FAX: 092-845-5019  
http://museum.city.fukuoka.jp

※年間スケジュールは途中で変更することがあります。

	10月	11月	12月	2018年1月	2月	3月
<b>特別展示室</b>	A B 発見100年記念特別展 よみがえれ! 鴻臚館 -行き交う人々と唐物- 9.7(木) 10.22(日)	11.3(金・祝) 神聖ローマ帝国皇帝 ルドルフ2世の驚異の世界 12.24(日)		1.7(日) 第29回新収蔵品展 ふくおかの歴史とくらし 2.8(木)		調整中
<b>常設展示室</b>	FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと					
<b>企画展示室 1</b>	市美×市博 黒田資料名品展Ⅲ 黒田家の婚礼 10.22(日)	10.24(火)	10.30(月)～11.13(月) 国宝金印 京都国立博物館に貸出中	12.24(日)	12.26(火)	学問の神—天神さま— 2.25(日) 2.27(火) 福岡藩御用絵師 狩野昌運 ～4.22(日)
<b>企画展示室 2 (黒田記念室)</b>	市美×市博 黒田資料名品展Ⅳ 藩主夫人が愛した文物 11.5(日)	11.7(火)	市美×市博 黒田資料名品展Ⅴ 黒田家と鉄砲 1.8(月・祝)	1.10(水)	市美×市博 黒田資料名品展Ⅵ 黒田資料にみる幕末維新 3.4(日)	3.6(火) 市美×市博 黒田資料名品展Ⅶ 黒田如水の文芸 ～4.30(月・祝)
<b>黒田家名宝展示</b>	10.3(火) 脇差 名物「碇切」	11.12(日) 11.14(火) 重文 銀箔押一の谷形兜・黒糸威胴丸具足、黒田長政像 12.27(水)	1.5(金) 国宝 刀 名物「庄切長谷部」 2.4(日)	2.6(火) 国宝 太刀 名物「日光—文字」 3.4(日)	3.6(火) 朱溜塗石餅藤巴紋蒔絵大拵 4.1(日)	～4.1(日)
<b>企画展示室 3</b>	黒田家の女乗物 10.15(日)	10.17(火)	「あたためる」道具 12.10(日) 12.12(火)			ふくおか発掘図鑑 8 ～4.1(日)
<b>企画展示室 4</b>	夜と道具 10.15(日)	10.17(火)	木筒が見つかったから 12.17(日) 12.19(火)			博多遺跡群出土資料重要文化財指定記念 中世都市「博多」の逸品たち ～4.8(日)

※国宝 金印「漢委奴国王」は、2017年10月30日(月)～11月13日(月)まで貸出中。それ以外の期間は常設展示室で展示。大身鏡 名物「日本号」は企画展示室2で常時展示。

## 秋～冬～春季の特別展のご案内

特別展示室 11.3(金・祝)～12.24(日)

### 神聖ローマ帝国皇帝 ルドルフ2世の驚異の世界

1576年から1612年にかけて神聖ローマ帝国皇帝であったルドルフ2世。彼が愛好した芸術家たちの作品を中心に、占星術や錬金術にも強い関心を示した皇帝の、時に魔術的とも言える魅力に満ちた創造と科学の世界を紹介します。



《ウェルトゥヌムスとしてのルドルフ2世像》  
ジョゼッペ・アルチンボルド、1591年、スコークロステル城蔵、スウェーデン

特別展示室 1.7(日)～2.8(木)

### 第29回新収蔵品展 ふくおかの歴史とくらし

福岡市博物館は、毎年、市民の皆様からの寄贈・寄託や購入によって多彩な資料を収集しています。本展では、平成26年度に収集し、整理と調査を終えた、歴史・美術・民俗の各分野にわたる資料を初めて一般公開します。



## イベントのご案内

### 冬のおとなミュージアム

福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡市博物館  
冬のおとなミュージアム

福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館の3館による連携企画シリーズ第4弾！  
内容や日程は決定次第、市政により、ウェブサイト等でお知らせの予定。



## 秋～冬～春季の企画展のご案内

企画展示室4 8.22(火)～10.15(日)

### 夜と道具

くらしの道具の中にも、それが使われるのにふさわしい時間があります。夜という時間とさまざまな道具の結びつきを再発見していきます。



企画展示室2 8.29(火)～11.5(日)

### 市美×市博 黒田資料名品展Ⅳ 藩主夫人が愛した文物

黒田家の重宝類の由緒を記した様々な記録と現存する藩主夫人の遺愛品を照合し、その伝来過程を明らかにし紹介します。



## 秋～冬～春季の企画展のご案内

企画展示室3 10.17(火)～12.10(日)

### 「あたためる」道具

寒い時期にかかせない、身体や室内をあたためる道具を紹介します。



企画展示室4 10.17(火)～12.17(日)

### 木筒が見つかったから

土の中から見つかる古代の木筒。展示室や教科書で見ると、どのような調査をくぐってきているのでしょうか。市内出土の木筒でたどってみましょう。



企画展示室1 10.24(火)～12.24(日)

### 南北朝の動乱と博多

鎌倉幕府の滅亡にはじまる約60年の南北朝の動乱を、博多および北部九州の政治動向から紹介します。



企画展示室2 11.7(火)～1.8(月・祝)

### 市美×市博 黒田資料名品展Ⅴ 黒田家と鉄砲

黒田長政が立花宗茂と鉄砲と弓の優劣を議論したエピソードをはじめとして、黒田家と鉄砲との関わりを江戸時代初期から近代まで振り返ります。



企画展示室3 12.12(火)～4.1(日)

### ふくおか発掘図鑑 8

一つの大発見から、地道な積み重ねでわかってくる歴史まで、遺跡の発掘調査成果を紹介します。



企画展示室4 12.19(火)～4.8(日)

### 博多遺跡群出土資料重要文化財指定記念 中世都市「博多」の逸品たち

博多遺跡群から出土した資料2318点が重要文化財に指定された記念に、指定品のなから博多遺跡の重要性を語る逸品たちを紹介します。



企画展示室1 12.26(火)～2.25(日)

### 学問の神—天神さま—

学問の神、天神さまに関連する館蔵の絵画・書跡・工芸作品を紹介します。



企画展示室2 1.10(水)～3.4(日)

### 市美×市博 黒田資料名品展Ⅶ 黒田資料にみる幕末維新

黒田資料に残る資料を通して、黒田家がいかにして幕末維新时期を乗り切ったのかを紹介します。



企画展示室1 2.27(火)～4.22(日)

### 福岡藩御用絵師 狩野昌運

福岡藩4代藩主黒田綱政に仕えた御用絵師狩野昌運の作品を紹介します。



企画展示室2 3.6(火)～4.30(月・祝)

### 市美×市博 黒田資料名品展Ⅷ 黒田如水の文芸

若き日に歌道を志した黒田如水。彼の詠んだ作品だけでなく、当時の和歌・連歌の世界における位置付けにも注目し、その活動を紹介します。



企画展は、歴史・考古・民俗・美術の各分野の学芸員が企画しています。おもに、こんな文化財からなる展示です。

- 古文書や歴史資料
- 発掘で出土した遺物
- くらしの記録や道具
- 日本やアジアの古い美術品
- いろいろな分野から